

「不要品」を
活かす

建設業

移転に伴う残置物回収・機密書類溶解

事例

22

2t 車 50 台分の残置物回収 機密書類は溶解処分



旧本社ビルの全フロア 1F～4F まで
約 100t の残置物を撤去回収

解決

現地調査から約 100t 分の残置物回収となることを確認。
当社の 2t トラックを 1 日 7 台出動させて、旧本社ビルの
1F～4F までの残置物を全て回収することとなった。

長年使用してきたオフィス家具・什器の場合には、市場で再販
ニーズがないモノも多くあった。それら廃棄処分には“バツカン”
と呼ばれるコンテナを各所に設置し、そこに廃棄物を入れて廃棄物
専用のアームロール車で運搬。

残置物の 2 割が機密書類であり、セキュリティ対策を施した自社
トラックで自社スタッフが回収。専用施設にて溶解処理し、紙資源
としてリサイクル。お客様には溶解処理証明書を発行し提出。

オフィス家具、什器などは 25 年使用していたため廃棄処分を
する必要のあるモノが多く、マテリアル化出来るモノは
当社センターで品目毎に中間処理を施しリサイクル。

廃棄処分のモノはマニフェストを発行して最終処分場へ。
リユース市場でニーズがあるモノは再度市場へ導入した。

機密書類含め、オフィス残置物の撤去回収から処分まで全てを
当社が実施し、移転後には大量に贈られた胡蝶蘭の処分も請負った。

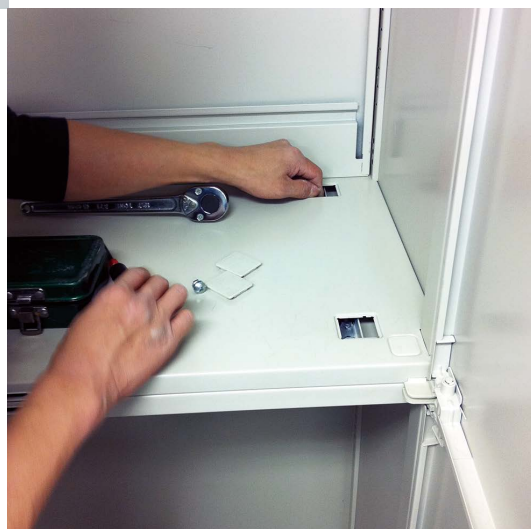
検討課題

計 600 坪、500 名程が働いていた
建設会社の本社が、新たに自社ビルを
建てて移転することとなった。

新社屋に相応しいオフィス家具・什器
類を新調するため、大量に残置物が
出ることとなった。

また、これを機に機密書類も同時に
処分したかった。

自社トラック、自社スタッフで
約 1 週間で作業完遂



2t 車 50 台分
2 割が機密書類



廃棄物専用の
アームロール車



機密書類の
溶解処理

POINT

1. 自社トラック
2. 自社スタッフ
3. 溶解処理